



ゴールデンウィークも終わり、運動会の季節となりました。運動会の練習を頑張りすぎて風邪をひいてしまったり、疲れてしまわないように体調管理にお気をつけ下さい。

感染症は比較的落ち着いている方だと思いますが、小中学校ではマイコプラズマ、百日咳が出ています。夜間の咳こみが強いような場合や周囲にそれらの感染症の方がいる場合は、必要に応じて検査を行っています。

また、現在は学校健診の季節です。指摘を受けた方は、二次健診を受けましょう。

百日咳の流行について

コロナウイルス流行中に、他の感染症の流行が抑えられていた反動なのか、コロナウイルスの5類移行後、様々な感染症の流行が見られます。

百日咳もその一つで、全国の年間報告数は2022年は494例と少なく、2023年1000例、2024年4054例、2025年は3月頃まですでに4000例を超えているようで増加傾向です。

4月初旬のあたりは八戸方面での流行が見られていましたが、4月後半より当院でも百日咳の患者さんがみられるようになりました。主に小学校・中学校での流行です。

検査は鼻咽腔のぬぐい液でのLAMP法という遺伝子検査を主に提出しています。抗原検査キットは不足しており入荷は出来ず、検査結果が出るまでに2~7日くらいかかっています。

幸い、抗生物質で改善しており、呼吸困難など重症化している方はおりませんが、持続する咳き込み、夜間の咳で眠れないなどで苦しんでいる方が多いです。

苦しい咳が続いている場合は検査と治療を考えますので、ご相談下さい。

乳幼児突然死症候群 (SIDS) 予防のために

健診で「気付くとうつ伏せになってるけど大丈夫ですか」という質問がたまにあります。うつぶせ寝が好きな赤ちゃんもいますし、一方向しか寝返りが出来なくて仰向けに戻れないという時期もありますよね。

日本小児科学会やこども家庭庁ではSIDSの予防を呼び掛けていますが、赤ちゃんの睡眠環境整備が重要です。仰向け寝の方が発症率は少ないのは確かですが、難しい場合は、敷布団を固くする、枕やぬいぐるみなどの柔らかいものを近くに置かない、顔にからまる恐れのある柔らかい掛布団は使用せず、着るもので体温調整するなどが推奨されています。

就学前の予防接種について

春から年長さんになった方は、就学前に麻疹・風疹ワクチン、おたふくワクチンの接種を行いましょう。

これらのワクチンは、流行や製造状況により供給が不安定になることがあります。また、10月以降はインフルエンザワクチンで予防接種の予約が取りにくくなります。年度末に焦ることの無いように、余裕をもって接種を行うようにして下さい。

6月の予定

6/6 (金) 午後休診

6/20 (金) 16:00(15:30予約)まで

6/21 (土) 9:00から診療開始